



YUASA

REPORT

第**141**期
2019.4.1-2020.3.31
証券コード：8074



ユアサ商事株式会社



複合専門商社グループ

つなぐ 複合専門商社グループを目指して

当社グループは2020年4月、新たな価値創造を目指していくために、新しいキャッチフレーズ「つなぐ 複合専門商社グループ」を制定いたしました。事業を、モノとコトを、お取引先さまをつなぎ、社会の課題を解決する当社グループが目指す姿をご紹介します。

動画配信のご案内

当社ホームページにて「つなぐ複合専門商社グループ」のイメージ映像を公開しておりますので、是非ご覧ください。
<https://www.yuasa.co.jp/>



「つなぐ」ことで、道を拓く



鍛冶職人



木炭商を始めた創業者は、やがて打ち刃物商として鍛冶職人と人々をつなぎ、当社グループの道を拓きました。

世界へ展げる



進む製造業の海外進出、「モノづくり」の現地化。課題解決のノウハウを展げるために日本と世界をつなぎます。

創エネ・省エネを究める



JCM (二国間クレジット) を活用したバイオマス・コージェネレーション装置



スマートエネルギー

世界のエネルギー問題。日本の省エネ技術や再生可能エネルギーで応えるために、技術とスマートエネルギーをつなぎます。

災害から守る



セキュリティ技術



深刻化する自然災害、ウイルス災害。安心・安全なくらしと事業継続のために、セキュリティ技術とBCPノウハウをつなぎます。

未来へ挑む



AIと人の共生がつなぐ匠の技の伝承。あらゆるものが「つながる」社会の実現へ向けて挑み続けます。



農業人口の減少に、自動化技術で培った発想で応えるために、技術と農業をつなぎます。



農業の自動散布テスト

connectome.design (コネクトーム デザイン) 社との資本業務提携について

2020年5月22日、当社はディープラーニングに強みを持つAIベンチャー企業 connectome.design (コネクトーム デザイン) 株式会社と資本業務提携を行うことを発表いたしました。

今後当社は同社とともに、熟練者の技術や経験により支えられてきた「匠の技」を自動化するとともに、商品やサービスにAIを実装するための新規事業の創出を通じ、デジタルトランスフォーメーション (DX) *を推進してまいります。

connectome.design株式会社 会社概要

本社	東京都千代田区丸の内1丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館20階
代表者	代表取締役社長 佐藤聡
事業内容	AI関連コンサルティング&新規事業創出
資本金	576,439千円 (資本準備金含む)
設立日	2018年6月19日
所属団体	日本ディープラーニング協会 (理事長 松尾豊) 正会員

*デジタルトランスフォーメーション (DX) : デジタル化やデータを活用した新しいビジネスモデルを通じ、競争上の優位性を確立すること。

共同出資会社「株式会社DONKEY」設立について

2020年5月27日、当社は株式会社日本総合研究所など5社の共同出資により、自律多機能型ロボット及びロボットから取得したデータを活用したサービスの開発から提供までを行う「株式会社DONKEY」を設立したことを発表いたしました。

今後当社は同社とともに、農業先端技術の開発・習得と関連サービスの拡充を進め、さらなる事業拡大を目指してまいります。

株式会社DONKEY 会社概要

本社	神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21 さがみはら産業創造センター-SIC-1 1103
代表者	代表取締役社長 山本秀勝
事業内容	農業者の作業を支援する多機能型農業ロボットの開発・生産及び関連サービスの提供
資本金	250,000千円
設立日	2020年3月19日
出資会社	株式会社アルプス技研、ユアサ商事株式会社、株式会社日本総合研究所、渡辺パイプ株式会社、情報技術開発株式会社

「つなぐ」複合専門商社グループへの成長に向け 「Growing Together 2023」の 達成に邁進いたします。

代表取締役社長 田村博之

2020年3月期 経営成績

売上高	4,913億48百万円	前期比 0.5%減
営業利益	118億71百万円	前期比 5.2%減
経常利益	128億4百万円	前期比 4.7%減
親会社株主に 帰属する 当期純利益	89億50百万円	前期比 1.0%減

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2026年（創業360周年）のあるべき姿として、業界トップレベルの収益構造を持つ「つなぐ複合専門商社グループ」に成長することを目指す「ユアサビジョン360」を策定し、その第1ステージとなる3か年の中期経営計画「Growing Together 2020」にグループ全社員一丸となって取り組みました。

Growing Together 2020の総括

2020年3月期の実績におきましては、売上高、利益額、ROEともに未達成となり、株主還元率のみが達成となりました。

コア事業の機能強化と経営基盤の強化については諸施策を実行でき、総合力の発揮と「ユアサビジョン360」実現に向けた基礎固めができたと考えております。

成長事業におきましては、農業や介護・医療など、将来に向けた新事業の布石は打つことができましたが、全社横断的な取り組みという面でスピード感が不足していたと考えております。

そのため今期よりスタートする「Growing Together 2023」では、2020年4月に設置した全社横断組織「グローイング戦略本部」により成長戦略を強力に推進してまいり所存です。

▶▶ 5ページ目参照

Growing Together 2023について

新中期経営計画の定量計画は右のグラフのとおりです。既存コア事業を強化しつつ、成長事業や新事業の割合を高めていくことで、2023年3月期売上高5,450億円、経常利益164億円を達成してまいりたいと考えております。

目標の達成に向け、3年間の投資枠として170億円を設定し、海外事業とロボ（AI）&IoT事業にそれぞれ40億円、その他の成長事業及びコア事業に50億円、社内のIT基盤に40億円を投資してまいります。

投資の一環として、2019年12月に業務提携を行いましたディーラーニングに強みを持つAIベンチャー企業であるconnectome.design株式会社とのパイプをさらに強めるため、同社と資本業務提携を行うことを発表させていただきました。本件を契機に、様々な事業分野において商品やシステムにAIを実装し、新たな付加価値を創出する事業を展開してまいりたいと考えております。

配当について

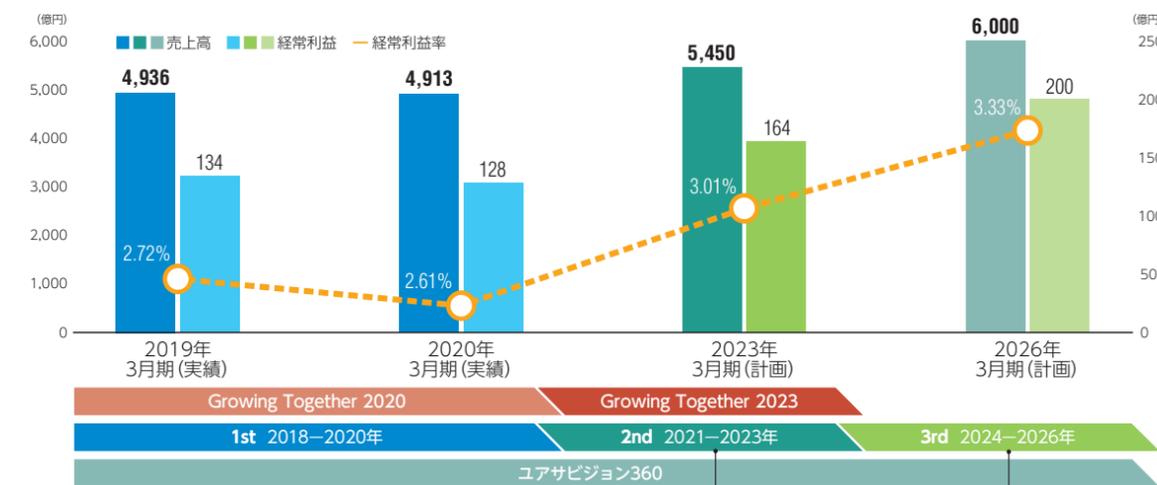
2020年3月期の期末配当におきましては、当初の予想通り80円とし、年間配当金を1株当たり150円（株主還元率37.2%）とさせていただきます。2021年3月期の配当予想につきましては、業績予想の開示とともにお知らせいたします。

株主の皆さまにおかれましては、何卒相変わりがせぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

長期ビジョンと中期経営計画

「ユアサビジョン360」2026年（創業360周年）のビジョン

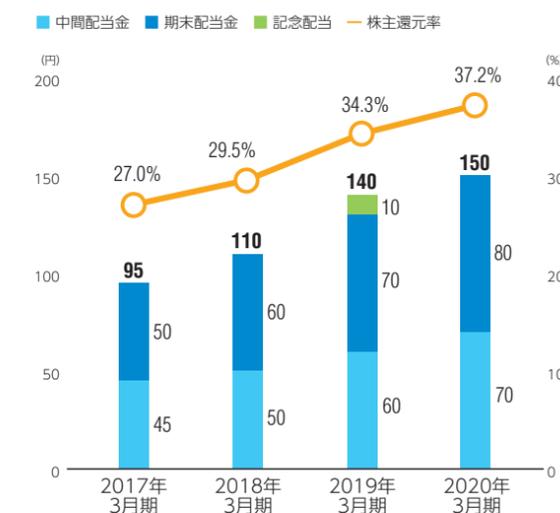
業界トップレベルの収益構造を持つ「つなぐ」複合専門商社グループへの成長を目指します。



定量目標(連結)

	2023年3月期 計画	2026年3月期 計画
売上高	5,450億円	6,000億円
営業利益	154億円	—
営業利益率	2.8%	—
経常利益	164億円	200億円
当期純利益	115億円	—
ROE	11.4%以上	11.7%
株主還元率	33.0%以上	33.0%以上

1株当たり配当金と株主還元率の推移



2026年（創業360周年）を見据え、「総合力」「チャレンジ」「コミュニケーション」をキーワードとし、社会課題解決ビジネスの拡大による、持続可能な社会の実現に貢献します。

目標 **成長事業（=社会課題解決ビジネス）の発掘・育成を行うとともに、真の働き方改革による生産性向上を実現します。**

目標の達成に向けて

●投資政策
3年間の投資枠として170億円を設定し、成長事業を中心に競争力強化に向けた投資を実行

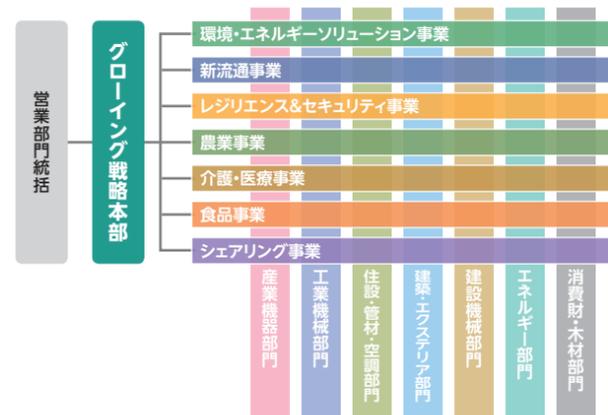
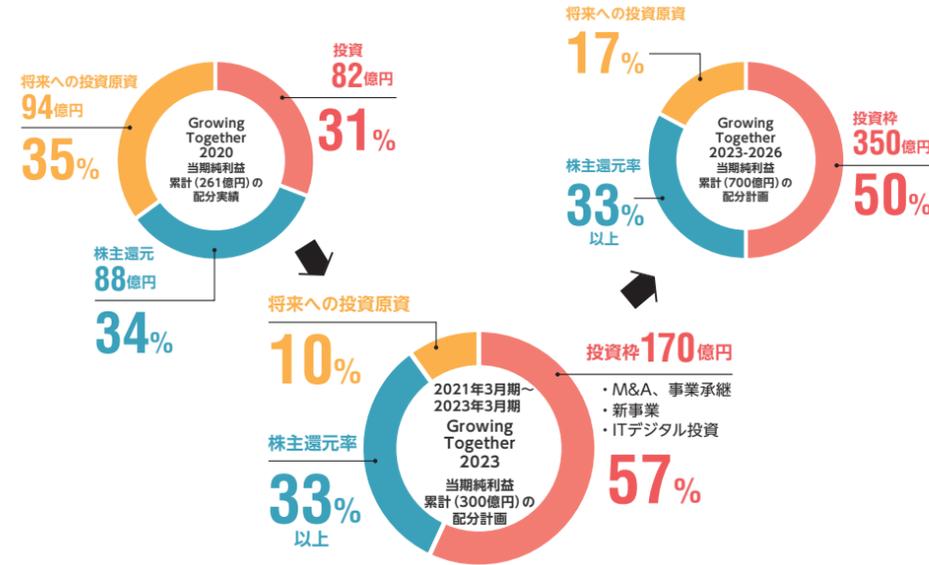
目標の達成に向け、3年間（2020年4月～2023年3月）の投資枠として170億円を設定し、海外事業とロボ（AI）&IoT事業にそれぞれ40億円、その他の成長事業及びコア事業に50億円、社内のIT基盤に40億円を投資してまいります。

投資内容については精査中ですが、海外事業では、機械ディスプレイメーカーとのアライアンスや新拠点の設立、ロボ（AI）&IoT事業では、AIベンチャー企業やロボットSierとのアライアンス、その他成長事業やコア事業については、機能強化や事業承継を目的としたM&Aを模索してまいります。

●組織変更
全社横断組織として「グローイング戦略本部」を新設

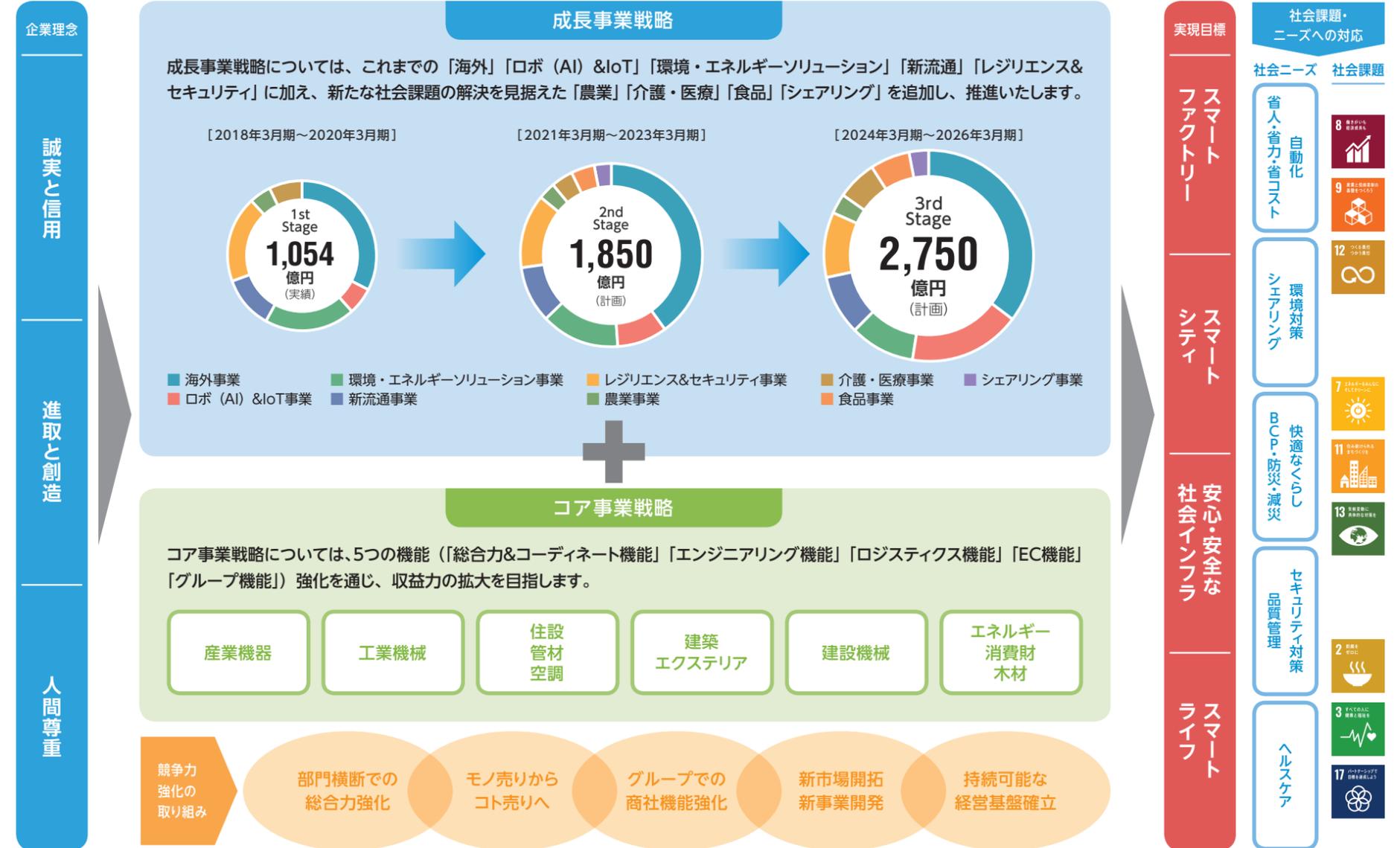
成長戦略の推進は、全社横断的な取り組みが必要なことから、2020年4月に営業部門統括傘下に「グローイング戦略本部」を設置し、グループ横断的に成長戦略を推進する体制を整備しました。

グローイング戦略本部を「Growing Together 2023」の成長事業推進のエンジン役として、また新たな事業の発掘・育成を担う組織として育成してまいります。



社会課題の解決に向けて

企業理念を原点に、事業を通じたESG/SDGsの取り組みを経営の重要課題と位置づけ、持続可能な社会の実現を目指します。



成長事業戦略

海外事業

全社コア事業の輸出入事業を拡大します。

Growing Together 2020の取り組み

- ・北米事業の強化
- ・JCM制度を活用した省エネ設備機器提案
- ・ベトナムへの拠点進出（住環境分野）
- ・東南アジア地域における建機&中古建機販売強化
- ・中古農業機械販売開始

Growing Together 2023の計画

- 現地セールススタッフ・エンジニアスタッフの育成
- ・拡大するアジア市場を中心とした拠点展開
 - ・現地資本企業への販売拡大（販売比率50%を目標）
 - ・タイ、ベトナムにおける省エネ・創エネ器材拡販
 - ・海外建材事業の強化（輸入・輸出）
 - ・中古建設機械・農機の輸出拡大

関連するSDGs



売上高 (億円)



投資枠 40 億円

売上高
364億円 (2020年3月期実績) → 740億円 (2023年3月期計画)

ロボ (AI) & IoT事業

システムインテグレーション機能をさらに強化し、各分野においてソリューション営業を展開します。

Growing Together 2020の取り組み

- ・自立走行型協働ロボットの開発およびコーディネート提案
- ・システム提案、設計、構想、アフターサービス機能強化
- ・各設備（空調・給湯など）を一括管理・制御する機器の拡販
- ・「磁界」と「ICタグ」を利用した安全対策商品の拡販

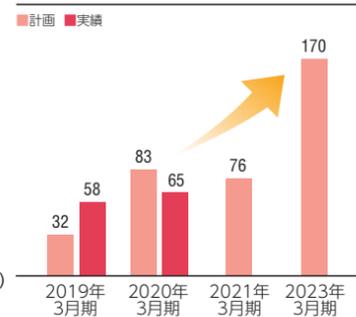
Growing Together 2023の計画

- connectome.design社と「匠の技AI工場」の開発に着手
- ・女性総合職ロボット専任担当を中心に、「ロボティクスソリューションチーム」を設置
 - ・Society5.0に対応した機器の開発・提案
 - ・ロボ (AI) & IoTインストラクターの育成
 - ・住宅エクステリアIoT器材の開発・提案
 - ・ICタグ管理を利用した情報プラットフォーム開発

関連するSDGs



売上高 (億円)



投資枠 40 億円

売上高
65億円 (2020年3月期実績) → 170億円 (2023年3月期計画)

環境・エネルギーソリューション事業

地球環境に貢献する機器やシステムを国内外に販売・普及させ、環境事業を強力に推進します。

Growing Together 2020の取り組み

- ・工場における各種省エネ提案
- ・ESG・SDGsに対応したソリューション提案
- ・ZEH・出力抑制対応HEMSユニットの開発・販売
- ・農地向けソーラーシェアリング提案
- ・屋上緑化・壁面緑化パネル販売

Growing Together 2023の計画

- YES部 (Yuasa Environment Solution) を核に全社横断で省エネソリューション提案を推進
- ・工場設備まるごと省エネ化の推進
 - ・部門を横断した環境インストラクターの育成
 - ・ESG、SDGs、RE100の推進
 - ・太陽光発電設備のリサイクル・リユース検討
 - ・卒FITユーザー向け余剰電力買取りサービス「ユアプレミアム」の推進

関連するSDGs



売上高 (億円)



売上高
219億円 (2020年3月期実績) → 250億円 (2023年3月期計画)

新流通事業

全社横断組織でECビジネスを拡大するとともに、当社グループと販売先さま&ユーザーさまを結ぶB to B to U(ユーザー)の受発注プラットフォームを整備します。

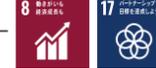
Growing Together 2020の取り組み

- ・ECサイトGrowing Navi稼働
- ・お取引先さまとの双方向プラットフォーム化
- ・新流通ビジネスの強化（ネット販売会社との取引拡大）

Growing Together 2023の計画

- ネット販売事業を「新流通ビジネス部」に集約し、ワンストップでの商品供給を推進
- ・Growing Navi発注金額の拡大
 - ・販売先さまとユーザーさまを結ぶ受発注プラットフォームの展開
 - ・デジタル化したコト売りビジネスモデルの推進
 - ・新流通ビジネス部による全社横断ビジネス展開
 - ・ロジスティクス機能強化

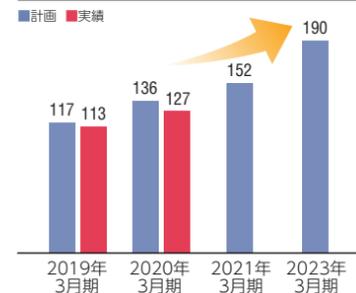
関連するSDGs



売上高

127億円 (2020年3月期実績) → 190億円 (2023年3月期計画)

売上高 (億円)



レジリエンス&セキュリティ事業

「防災・減災・BCP」をキーワードに、安心・安全な「産業」と「まちづくり」を推進します。

Growing Together 2020の取り組み

- ・工場や事務所への備蓄品提案
- ・工作機械や事務機器の転倒防止・避難経路確保提案
- ・生体認証技術を活用したセキュリティ対策の提案
- ・当社各拠点にレジリエンスリーダーを配置・育成
- ・災害時にも活用できるソーラー街路灯「ソーラーステーション」を開発

Growing Together 2023の計画

- レジリエンス&セキュリティ室を全社横断部門とし、提案力をさらに向上
- ・電源確保に向けた提案強化（発電機、蓄電池、無停電電源装置他）
 - ・生体認証技術を各事業領域に展開
 - ・BCP、ESG、SDGsを絡めたソリューション提案
 - ・止水板や備蓄品などによるBCP提案強化
 - ・オリジナル防災用コンテナハウスの開発

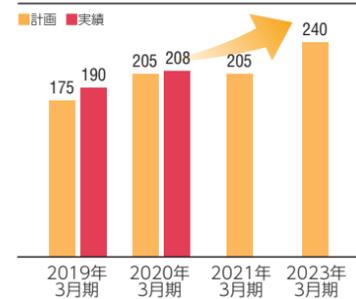
関連するSDGs



売上高

208億円 (2020年3月期実績) → 240億円 (2023年3月期計画)

売上高 (億円)



農業事業

関連するSDGs



次世代の「儲かる農業」をご提案します。

売上高
19億円 (2020年3月期実績) → 50億円 (2023年3月期計画)

Growing Together 2023の計画

- ・スマート農業に対応したロボットや機器開発・提案
- ・仕入先メーカーとのタイアップによる農業関連装置の開発
- ・畜産・酪農分野向け電力自家消費パッケージ提案
- ・農機販売のプラットフォーム開設

新分野

食品事業

関連するSDGs



「食の安全」をキーワードに、サプライチェーンに最適な設備&機器のトータル提案を推進します。

売上高
80億円 (2023年3月期計画)

Growing Together 2023の計画

- ・スマート食品工場を実現するためのトータル提案
- ・食品ロスを軽減するための商品提案
- ・異物混入を防止する検査装置の提案（食の安全性向上）
- ・環境改善提案（空調、空気清浄、照明など）
- ・HACCP導入サポート

シェアリング事業

関連するSDGs



市場ニーズに合わせた、様々な分野におけるシェアリングモデルを創出・ご提案します。

売上高
50億円 (2023年3月期計画)

Growing Together 2023の計画

以下の分野におけるシェアリングビジネスの検討を開始します

- ・工場設備、産業機器、ロボット
- ・物流センターの機能
- ・サービス、メンテナンス
- ・農機など

コア事業戦略

5つの機能強化を通じ、コア事業の収益力拡大を目指します。

グループ全体で「コト売り」提案を推進

地域ブロック制組織に加え、全社横断組織「グローイング戦略本部」の設置により、部門間&グループ間連携を強化し、ワンストップでのソリューション提案を推進します。

新組織（総合エンジニアリング室）により物件のトータル受注を推進

グローイング戦略本部傘下に「総合エンジニアリング室」を設置し、各組織が持つ専門性を結集することで、グループ全体で物件のトータル受注を展開します。



新物流センター（関東・中部・関西）の機能発揮

2019年10月に新たに稼働した中部物流センターに加え、2020年5月に統合移転した関西物流センターのロジスティクス機能を発揮します。



エンジニアリング機能

既存機能の強化・拡大

グループ機能

ロジスティクス機能

EC機能

総合力&コーディネート機能

ユアサグループの競争力強化

M&Aによるグループ機能強化

当社グループに必要な機能についてはM&Aにより補強し、ワンストップで総合力を発揮できる複合専門商社グループへの進化を目指します。2020年3月に全株式を取得し子会社とした2社の概要は以下のとおりです。

富士クオリティハウス株式会社		株式会社高千穂	
本社	群馬県伊勢崎市	本社	神奈川県横浜市
事業内容	組立式仮設ハウス（コンテナハウス）の設計・製造販売	事業内容	リフォーム工事業
資本金	200百万円	資本金	79百万円
売上高	2,454百万円（2019年3月期）	売上高	1,458百万円（2019年5月期）

- 強み**
- ・耐久性が高く、高品質なコンテナハウスを製造
 - ・防災備蓄倉庫の納入実績多数

- シナジー効果**
- ・グループのネットワークを活用した販売拡大
 - ・建設現場以外のニーズに対応した商品開発



コンテナハウスを「感染症対策ハウス」として用途開発し、医療施設等に納入してまいります。

- 強み**
- ・市場規模が大きい神奈川県下を中心に戸建・マンションのリフォーム工事を請負
 - ・リフォーム情報が入る独自ネットワーク

- シナジー効果**
- ・業界トップクラスの幅広い商品ラインナップ、豊富な機能を駆使したリフォーム・リノベーションビジネスの拡大



B to B to U（ユーザー）のプラットフォームを整備

ECサイト「Growing Navi」について、引き続きシステム改善を継続していくとともに、B to B to U（ユーザー）の展開に取り組みます。

Growing Navi



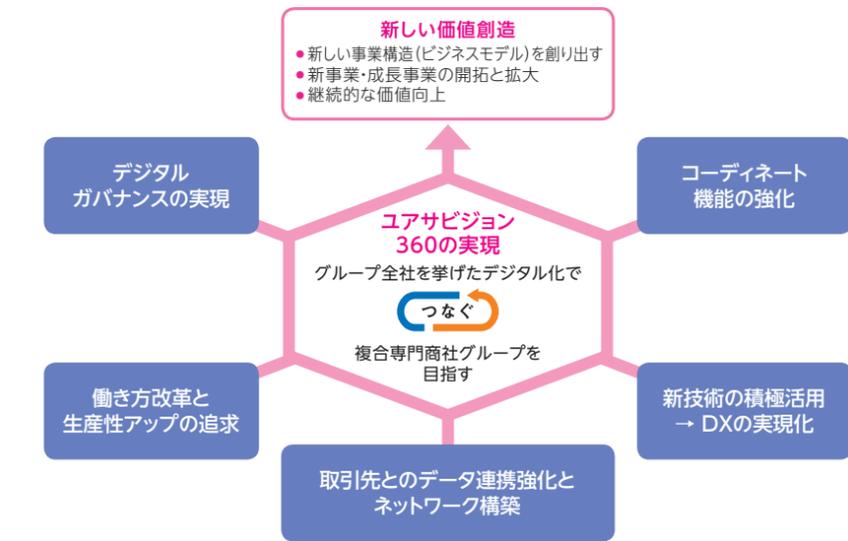
経営基盤の強化

グループ全社を挙げデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するとともに、全社グループ社員が格差なく情報技術を活用するためのITリテラシーの向上に取り組みます。

投資枠 40 億円

国内外のグループ情報基盤の共有化

新しい価値創造に向けて、コーディネート機能の強化や新しい技術を活用し攻めのITへシフトしてまいります。さらに、ユアサ商事グループ共通のIT基盤を整備し、グループ全社を挙げたデジタル化を推進するとともに、全社グループ社員のITリテラシーを高めてまいります。



イノベーションを喚起する企業風土の形成

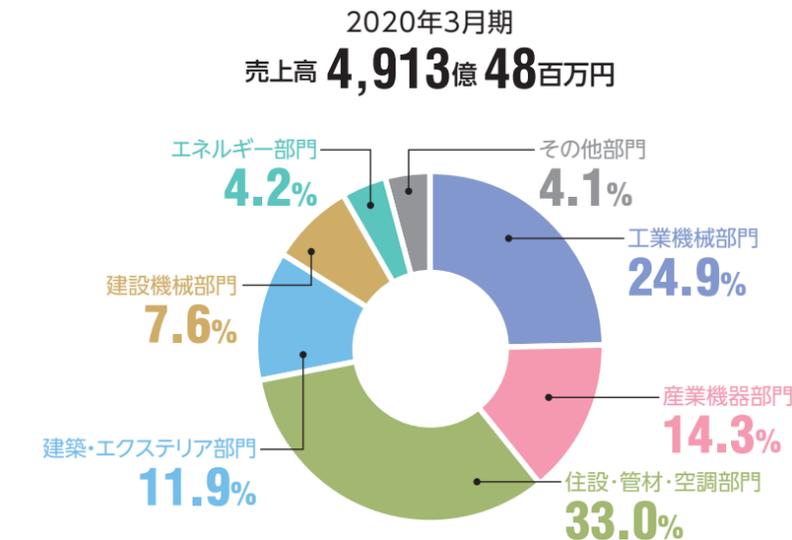
理系人材、女性総合職、留学生などの多様な人材の採用を通じ、イノベーションを喚起する組織風土を形成します。また、非財務KPIとして女性総合職比率、女性総合職採用比率、有給休暇取得率、平均労働時間について数値目標を定め取り組んでまいります。

●2023年3月期計画

女性総合職比率	3.6% → 5.0%	女性総合職採用比率	10.4% → 12.0%
(2020年3月末現在)		(2020年3月末現在)	
有給取得率	51.0% → 60.0%	平均労働時間	2,007時間 → 1,900時間
(2020年3月末現在)		(2020年3月末現在)	

セグメント別の概況

●セグメント別売上高構成比



産業機器部門



売上高 **700億56百万円**
前期比 4.1%減

食品関連産業を中心に工場稼働率は底堅さを維持し、自動化・省力化機器、切削工具、測定器具、制御機器などの需要は堅調に推移。一方で、第2四半期以降の自動車関連産業の需要の急減速とともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより半導体やスマートフォン関連産業が厳しい状況で推移。



工業機械部門



売上高 **1,224億26百万円**
前期比 6.2%減

国内では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、様々な業種で厳しい受注環境が継続。一方で、5G（第5世代移動通信システム）関連の半導体製造や医療用検査機器向けの工作機械需要は増加。海外では、インド、インドネシア、台湾の日系企業を中心に設備投資需要が好調に推移。

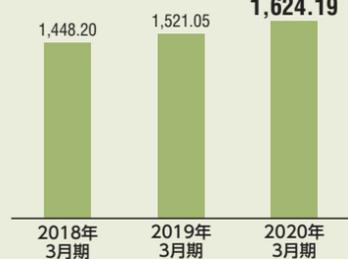


住設・管材・空調部門



売上高 **1,624億19百万円**
前期比 6.8%増

新設住宅着工戸数の減少や消費税増税、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるサプライチェーンの停滞により、住宅分野での機器販売が減少。一方、非住宅分野の空調機器は、東京オリンピック・パラリンピック関連需要により堅調に推移。また、蓄電池関連機器の需要も堅調に推移。



建築・エクステリア部門

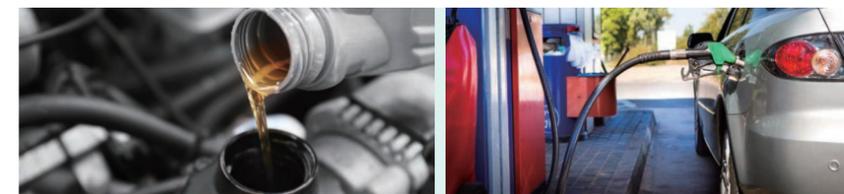


売上高 **582億59百万円**
前期比 3.6%増

東京オリンピック・パラリンピック施設向けの需要には一服感がみられた一方、都市部を中心とした再開発事業などの景観エクステリア需要が堅調に推移。また、災害復旧・復興需要や防災・減災需要により、フェンス・ガードレールなどの社会インフラ関連商材の販売が伸長。



エネルギー部門



売上高 **205億84百万円**
前期比 12.2%減

石油元売事業者の再編の影響による市場環境の変化、低燃費車の普及などにより石油製品の需要の減少が継続。また、小売事業では台風等の自然災害や暖冬の影響を受け、ガソリン・灯油の販売量が減少。



建設機械部門



売上高 **372億75百万円**
前期比 8.5%増

公共工事や再開発事業により建設機械需要は伸長するも、第3四半期以降、自然災害の影響により納期遅延が発生。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により商品供給の遅れや公共工事が一時中止、延期となったものの、レンタル業者向け小型建設機械の設備投資需要は堅調に推移。

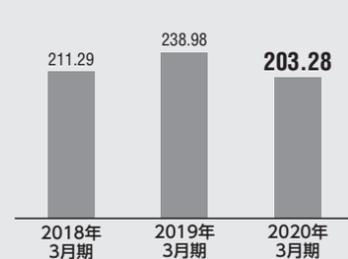


その他部門



売上高 **203億28百万円**
前期比 14.9%減

消費財事業では、暖冬により冬物季節家電の販売が低調に推移。木材事業では、フロア関連資材と住宅用輸入製材の販売は堅調に推移。一方、輸入合板及び梱包材は、コスト上昇と国内市場の荷動きの停滞、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により低調に推移。



財務ハイライト

2020年3月期の
ポイント

売上高

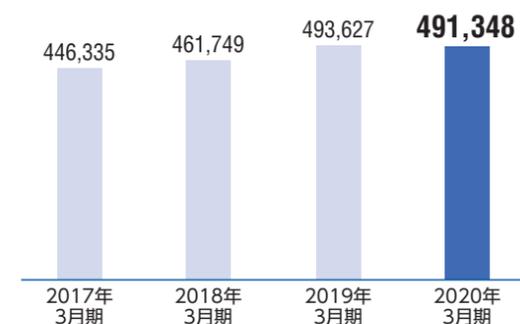
米中貿易摩擦、消費税増税や自然災害に加え、新型コロナウイルス感染の世界的な流行により極めて厳しい環境となりましたが、建設・住宅分野では、新設住宅着工戸数は減少したものの、再開発事業などの民間設備投資、公共設備投資は引き続き堅調に推移しました。一方、工業分野では、設備投資には一層慎重な動きがみられ、受注環境は低調に推移しました。この結果、売上高は、前年比**0.5%減**の**4,913億48百万円**となりました。

配当金

期末配当金につきましては**1株当たり80円**とし、中間配当金と合わせて**年間150円(株主還元率37.2%)**とさせていただきます。

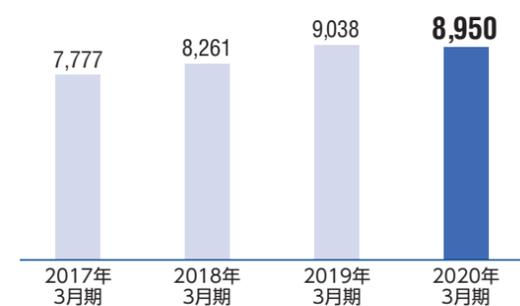
売上高

(百万円)



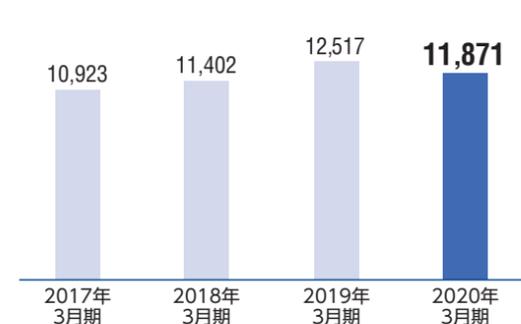
親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



営業利益

(百万円)



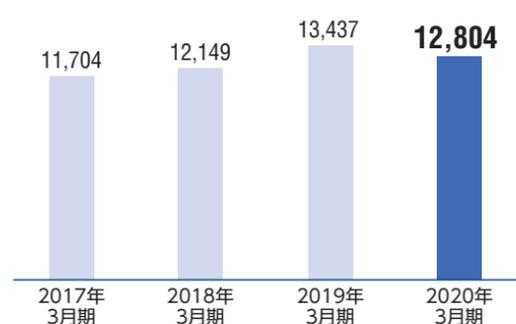
自己資本比率

(%)



経常利益

(百万円)



ROE(自己資本当期純利益率)

(%)



会社概要／株式情報 (2020年3月31日現在)

会社概要

商号 ユアサ商事株式会社
YUASA TRADING CO., LTD.
本社 東京都千代田区神田美土代町7番地
創業 1666年(寛文6年)3月
設立 1919年(大正8年)6月25日
資本金 20,644百万円
従業員数 2,242名(連結) 1,030名(単体)

取締役及び監査役 (2020年6月24日現在)

名前	役職	管掌
田村 博之	代表取締役社長	
佐野木晴生	代表取締役専務取締役 経営管理部門統括	兼 地域・グループ担当 兼 輸出管理委員会委員長 兼 倫理・コンプライアンス委員会委員長 兼 内部統制委員会委員長
田中 謙一	専務取締役 営業部門 統括 住環境マーケット 事業本部長	兼 ユアサプライム(株)代表取締役会長 兼 (株)高千穂代表取締役会長
高知尾敏之	常務取締役 工業マー ケット事業本部長	兼 海外事業推進担当 兼 (株)国興代表取締役会長
高橋 宣善	取締役 経営管理部門 副統括	
中山 直美	取締役 建設マーケット 事業本部長	兼 ユアサマクロス(株)代表取締役会長 兼 東洋産業(株)代表取締役会長 兼 ユアサ燃料(株)取締役 兼 ユアサ木材(株)取締役
広瀬 薫	取締役 東部住環境 本部長	兼 ユアサクオビス(株)代表取締役会長 兼 浦安工業(株)代表取締役会長
佐古 晴彦	取締役 機械エンジニア リング本部長	
前田 新造	取締役(社外)	
戸谷 圭子	取締役(社外)	
水町 一実	監査役(常勤)	
古本 好之	監査役(常勤)	
鶴田 進	監査役(社外)	
本田 光宏	監査役(社外)	

(注) 社外取締役を除く取締役は執行役員を兼務しております。

国内ネットワーク

国内拠点	
31拠点 (8支社、12支店、11営業所)	
主な国内グループ会社	
産業機器	株式会社国興
工業機械	ユアサテクノ株式会社 ユアサブプロメテック株式会社 ユアサクオビス株式会社 友工商事株式会社 浦安工業株式会社 株式会社マルボシ 株式会社サンエイ 株式会社高千穂 フシマン商事株式会社
住設・管材・空調	東洋産業株式会社 ユアサマクロス株式会社 富士クオリティハウス株式会社
建築・エクステリア	ユアサ燃料株式会社
建設機械	ユアサプライム株式会社 ユアサ木材株式会社
エネルギー	
その他	

海外ネットワーク

主な海外グループ会社	
湯浅商事(上海)有限公司	中国
深川国孝貿易有限公司	中国
YUASA TRADING (TAIWAN) CO.,LTD.	台湾
YUASA TRADING (THAILAND) CO.,LTD.	タイ
YUASA ENGINEERING SOLUTION (THAILAND) CO.,LTD.	タイ
PT. YUASA SHOJI INDONESIA	インドネシア
YUASA MECHATRONICS (M) SDN. BHD.	マレーシア
YUASA TRADING (PHILIPPINES) INC.	フィリピン
YUASA TRADING VIETNAM CO.,LTD.	ベトナム
YUASA TRADING INDIA PRIVATE LIMITED	インド
YUASA-YI, INC.	米国
YUASA SHOJI MEXICO, S.A. DE C.V.	メキシコ

株式の状況

発行可能株式総数…………… 40,000,000株
発行済株式総数…………… 23,155,882株
(自己株式881,156株を含む)
株主数…………… 8,062名

※単元株式数は100株であります。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行(株)	2,049	9.19
日本マスタートラスト 信託銀行(株)	1,307	5.87
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	918	4.12
ユアサ炭協持株会	789	3.54
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	650	2.91
西部ユアサやまざみ持株会	624	2.80
(株)三井住友銀行	594	2.66
東部ユアサやまざみ持株会	588	2.64
ユアサ商事社員持株会	452	2.02
ダイキン工業(株)	452	2.02

1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出し小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。
3. 当社は自己株式881千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
4. 上記信託銀行持株数のうち、当該信託銀行の信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 2,049千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 1,307千株

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.yuasa.co.jp/ir/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。

ESG/SDGsへの取り組み

マレーシア・ムルボック湿地保護林における「ユアサ商事の森プロジェクト」の開始について

当社は気候変動への対策（森林や生物多様性の維持）に向け具体的に行動するため、2020年4月より公益社団法人日本マレーシア協会様とともにマレーシア・クダ州ムルボック湿地保護林における植林活動を開始いたしました。

当社はこれまで北海道に保有する3カ所の森林で継続的に植林事業を実施してまいりましたが、海外で実施するのは初めての試みとなります。

今後10年間かけて、当社グループ社員が現地での植林活動を行っていくほか、地域の教育機関と連携した環境教育の実施や地域社会の生活支援につながる取組みを行ってまいります。



伐採によって劣化したマングローブ林の再生に取組みます。

マングローブ植林活動の概要

実施場所	マレーシア クダ州 ムルボック湿地保護林内森林劣化地域約200ha
実施期間	2020年4月1日～2030年3月31日（10年間）
主な実施内容	・育苗、植林活動 ・環境教育プログラム実施 ・地域社会生活向上プログラム実施



動画配信のご案内



当社ホームページにて、2020年3月期通期決算説明動画および新中期経営計画「Growing Together 2023」に関する説明動画を公開しておりますので、是非ご覧ください。

<https://www.yuasa.co.jp/ir/index.html>

